

## 第5回「みなかみ町協働のまちづくり委員会」会議録

1. **開催日時** 平成21年4月16日(木) 午後7時～午後8時45分

2. **開催場所** 役場本庁6階 第3会議室

3. **出席者数** 17名(委員12名・事務局5名)  
詳細は席次表のとおり

### 4. **開 会**

- ・事務局が開会を宣言する。
- ・事務局が欠席委員4名の報告をする。(竹内委員・鈴木委員・河合委員・速水委員)
- ・事務局が会議資料の確認をする。(事前郵送資料：次第、資料1・2、前回会議録 本配布資料：資料3、委員会名簿、参考本)

### 5. **委員長挨拶**

- ・松井委員長が挨拶する。第4回委員会の後に2回検討会を行った。資料1・2については、内容に変更が生じている。協働のまちづくり委員会の位置付けをはっきりさせた中で協議を進めていきたい。
- ・事務局長が瀧澤委員の退会を報告する。
- ・事務局長が町民憲章について説明する。校長会(4月3日)及び区長会(4月15日)で周知した。憲章のパネルを作成し、町内小中学校及び各区集会所へ配布した。また、上毛新聞にも記事が掲載される予定である。
- ・事務局長が人事異動に伴う職員を紹介し、自己紹介する。

### 6. **協議事項**

- ・松井委員長が議長となり、以下のとおり進行する。

#### (1) **第4回委員会会議録案の確認について**

- ・会議録案のとおり訂正なしで承認される。

#### (2) **地区まちづくり協議会の検討について(資料1～3)**

- ・事務局が資料3(P1～3)に基づき説明する。
- ・まちづくり協議会は、地域の特色と個性を活かしたまちづくりを実行する組織でまちづくり協議会の取り組みについては、各協議会の自主性や主体性を尊重することが重要であり、事業や予算等の決定権と責任を持たせることで、各協議会の活性化や地域を担う人材の育成が促進され、地域活動が活発化し、地域の課題解決と住みよい活力ある地域が実現できると考えている。

**【委員からの質問・事務局の回答】**

Q) 一括交付する意味は？

A) 交付金300万円を一括交付し、実績報告を提出していただくことを予定している。ただし、事業完了後の残金は、返還してもらう。各協議会の事務を簡素化し、事業決定と責任を持っていただきたい。また、不都合があればその都度変更していきたい。

Q) 300万円は、継続していけるのか？

A) 予算の範囲内ということではあるが、合併振興基金の運用益を活用し、継続して実施していきたい。

Q) 協議会の事業計画や予算を審査する組織がないと余った交付金を何でもいから全部使おうという考え方になってしまい、監査で指摘され、予算化できない可能性が出てきてしまうと思うので、しっかりとした制度をつくる必要があるのではないか？

A) 協議会の自主性を尊重し、事業や交付金の使い途の決定権と責任を持ってもらうと考えている。協働のまちづくり委員会（評価・検証部会）で事業報告の評価・検証を行い、次年度の取り組みに反映したいと考えている。

**【事務局の説明】**

- ・事務局が資料3（P4～11）に基づき説明する。
- ・各検討事項について、協働のまちづくり委員会で検討していただきたい。

**【委員からの質問・事務局の回答】**

Q) 議員が協議会に入らない方がよいという意味がわからない。議員が協議会に入って活動することが協働のまちづくりになると思う？

A) 現段階で議員は、オブザーバーとして考えている。また、協働のまちづくり委員会は、事業実績の評価・検証を行う委員と、協議会の構成員として事業を実施する委員としてお願いしたいと考えている。

**【委員からの意見】**

- ・協議会に議員を含めることで、まちづくりに対する全体の意見が聞けることになると思う。
- ・議員を含めることでよいと思う。職業に関係なく、それぞれの個性を活かしたまちづくりを進めることが大切である。
- ・まちづくり基本条例が基本となっているので、三者でまちづくりをすることが基本であると思う。

**【委員からの質問・事務局の回答】**

Q) 区長会でどのような説明をしたか教えてほしい？

A) 資料は、配布していない。300万円を予算化し、地域で有効に使ってほしい旨を説明した。

Q) 事前に送付した資料に連絡協議会とあるが、この組織はどうなるのか？

A) 委員長と事務局検討会によって、連絡協議会をつくる必要がなくなった。

Q) 区長会の協議会での位置付けはどうなるのか？協議会には、区長全員が入り連携していくことが大切であると思う。

A) 各協議会の組織構成等は、それぞれ協議会で決めていただければよいと思う。支部を設けてもよいと思うし、区長会に対して話をする機会等を設けてもよいと思う。

・・・・・・・・午後8時～(10分間休憩)・・・・・・・・

**【委員からの意見】**

- ・これからの検討事項として、細かい内容を決める必要があると思われる。各協議会で基準が違っては困るので、統一の基準を設ける必要があると思う。また、お祭りは、コミュニティづくりの究極なものであり、既存のお祭りに交付金が使用できないと困ると思う。
- ・既存事業との整合性をどうするのか具体的に検討したい。
- ・既存のお祭りが最大の懸念である。もし、既存のお祭りが対象とならない場合は、納得する理由が必要である。
- ・せっかく住民のためのよい制度ができようとしているので、地域が混乱しないようにする必要がある。
- ・新規事業でなければダメということではなく、地域でよく話し合うことが重要であると思う。まずは、やってみることが大切であると思う。

**【事務局の説明】**

- ・資料3のP7を説明する。この基準で各協議会で検討していただきたい。
- ・事業内容のQ&Aを整理していきたいと考えている。
- ・地域づくりは人づくりであり、地域全体でよく話し合うことが大切である。ここでダメとかいう議論ではなく、まずはやってみたらどうだろうか。

**【委員からの意見】**

- ・とにかくスタートしてみたらどうだろう。
- ・全面的に協議会に任せるとのことなので、あまり制限をつけない方がよいと思う。

**【委員からの質問・事務局の回答】**

Q) 草刈り等の作業保険は、経費の対象となるのか？

A) 対象としてよい。

Q) 事務局は、どうなるのか？

A) 3地区のまちづくり協議会に事務局を置くことになる。月夜野地区は、本庁総務課で、新治及び水上地区は、各支所に事務局を設けることを想定している。

**(3) 今後の進め方について**

- ・事務局が今後の進め方について説明する。
- ・今後は、情報共有の仕組みづくり、講師による勉強会及び研修視察等を進めていきたいと考えている。
- ・本日配布した参考本「協働コーディネーター」を一読願いたい。
- ・高崎経済大学の地域づくりや協働のまちづくりを研究している河藤教授を招き講演会を開催したい。設立準備会委員や町の担当者に聴いていただきたいと思う。また、実施時期については、協議会の組織づくりがあるので、今後検討していきたい。
- ・本日の検討事項をまとめ正副委員長と事務局で、第6回委員会開催前に再度検討することで承認を得る。
- ・事務局で協議会の設立スケジュールを作成し、第6回委員会で説明する。

**(4) その他**

- ・次回委員会の開催日について

第6回 平成21年5月13日(水) 19:00～ 本庁6階第3会議室

第7回 平成21年6月17日(水) 19:00～ 場所は事務局で検討する。

**7. 閉 会**

- ・事務局が閉会を宣言する。

# 第5回「みなかみ町協働のまちづくり委員会」 席次表

日時：平成21年4月16日(木) 19:00～

場所：みなかみ町役場(6階)第3会議室

